



# 三木高大 自治会新聞

令和4年9月号 (No. 177)

発行 三木市高齢者大学学生自治会  
発行責任者 自治会会長 米村 隆  
編集者 自治会新聞編集委員会  
発行日 2022年(令和4)9月6日

<http://koureisyaigaiku.cccp.jp>

## 令和4年度 グラウンドゴルフ大会のご案内

4年度は従来のスポーツデーの名称を改め、グラウンドゴルフ大会として11月2日(水)に開催します。

グラウンドゴルフ大会は、高大で最大の行事で、高大・大学院学生、大学職員が参加します。今年は、38名の新入生を加えて盛大な大会になる予定です。

大会を通じて健康づくりを推進するとともに、親睦を一層深め、学生時代の思い出を作ることをごを目的としています。

グラウンドゴルフは、高齢者向けのスポーツで、ルールが簡単で、体力や技術がない初心者でも運が良ければホールインワンや好成績が出る可能性があるスポーツです。

初心者はもちろんベテランでも自分の思う通りに飛んで行かないボールに悩むと思いますが、広々とした芝生の上で思い切り打って日頃のストレスを解消してください。

大会は、学年で優勝を目指して点数を競います。優勝した学年には表彰・賞品があり、祝勝会もできます。しかし、優勝に関係なく個人賞としてホールインワン、ベストスコア、飛び賞、ブービー賞など、たくさんの表彰・賞品を用意しています。

これから大会に向けて学年だけで練習する機会が多くなると思いますが、楽しくプレーすることで親睦を深め学年の団結力も高まると思います。

大会要領や参加メンバーの組み合わせ表などは作成次第、配布します。実行委員会では、大会開催に向けてコロナウィルス対策に万全を期すとともに、楽しく有意義な大会になる様に準備を進めてまいります。皆様のご協力をお願いいたします。

**実行委員会の委員一同、多数の皆様の参加を楽しみにお待ちしております。**



開催日時 : 11月2日(水) AM9:00~AM12:00  
雨天予備日 : 11月4日(金)に順延  
(予備日 雨天の場合は中止)  
開催場所 : 三木総合防災公園グラウンドゴルフ場

★当日、中止の場合は、連絡網でお知らせします。

グラウンドゴルフ実行委員長 3年1班 黒田 俊夫

意見発表会も済み、高齢者大学も夏休みに入りました。私は意見発表会の原稿を書いている、父や母の子供に対しての思いやりを強く感じました。それは私も子供の親として子供にいろいろ言っても、なかなか聞いてくれない事と思い合わせたからなのです。

私がデモに行くのを父親、母親が言っても聞かない息子を止めるのに、恐らく二人が話をし、思いついたのが麻雀だったのでないだろうか、と思ったのです。

普通、麻雀は4人ですのに父母と私の3人でして、息子を勝たせて小遣いを黙ってやれば、この次も麻雀をすることを考えたのではないだろうか。

それに気が付かなかった私はなんとアホ丸出しではないか。でも、親としてはデモに行って機動隊に殴られたり、警察のお世話になったりしたら大変だとの思いがあったのだろうか。もう50年も前の親たちの一コマなのですが、今になって親の切羽つまった気持ちを少しわかった気がしました。

何時の時代でも親の子供に対する気持ちは変る事がないのです。意見発表会の原稿を書いている、普段は思い出すことのない両親を思い出させてくれた事に感謝を申し上げます。同時に私も今年76歳になるから、墓参りを長い間ご無沙汰しているの、それもしなくてはならないと思いました。



3年1班 久保 洋一郎

## 専門講座（園芸学科）

園芸学科は盆栽と野菜栽培の二つに分かれていて、交互に行われています。

盆栽講座は実習も多く、最近新聞紙を細かくちぎってセメントと混ぜ、紙粘土にして植木鉢を作りました。皆でワイワイ言いながらの製作は和みます。この後、年末には「松竹梅」の寄せ植え、来年三月には森脇ガーデンハウスにお邪魔して、植え替え実習やハウス見学、お弁当等楽しい時間を過ごさせていただく予定です。

野菜講座は毎回皆の質問責めで先生も大変です。でも小田先生はどんな質問にも即答です。チャイムが鳴っても質問は続きます。すると先生は「早く終わらないとまた叱られる」と言いながらも最後までちゃんと答えて下さいます。私は園芸クラブに入部していて、実際に野菜作りも経験していますが、じゃがいも、さつまいもと立て続けに猪に食べられてしまい、それにミミズとかの虫が大の苦手なのでこちらはもう挫折しそうです。でも先生の講座は聞いているだけで楽しいので、もっともっと勉強したいです。

もう一つの魅力は皆さんが育てられた花や野菜の苗を育苗ポットに入れて分けて下さることです。皆さん、嬉しそうに持って帰られています。

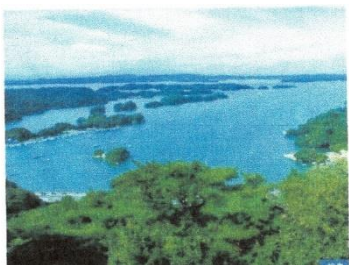
ここで学べるのも、もうあと半年余りとなりましたが最後まで楽しく学びたいと思っています。

4年1班 中野 由美

年月が過ぎるのは、早いもので、大学生活も残り半年程になりました。

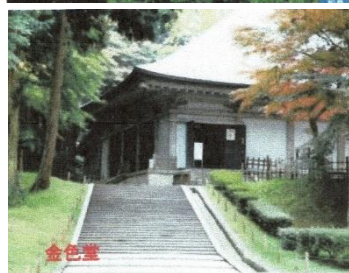
数々の講義やクラブ活動を楽しみましたが、近年は、コロナ禍によって、学校行事が簡素化され、休校になった時もありました。大変短い学生生活だったように感じます。それゆえ、4年生最大のイベントである卒業旅行は、なんとしても全員参加を目標に実行したいと思っています。

クラス全員で集まれる日が、少ないため、早々に皆の希望を聞くことにしました。北海道、東北、東京、九州など、たくさんの候補地が上がりました。その中でも、「東北方面は、行ったことが無い」という意見が多く、多数決の結果、秋が深まる紅葉シーズンに、青森、岩手、宮城へ行く事に決定しました。



日本三景の一つである松島の絶景と瑞巖寺や五大堂を見て回ることに、更に、平泉では、中尊寺の建築美や金色堂内の極楽浄土の世界観に触れることを私自身、とても楽しみにしています。

その他にも、紅葉の奥入瀬渓流や十和田湖、日本一深い田沢湖に角館武家屋敷群、青葉城など、見所満載のコースになりそうです。三陸海岸の海の幸や仙台の牛タン、地酒など、食べ物も有名なので、きっと満足出来る旅になるだろうと思います。



高齢者の旅なので、道中では、しっかりコロナ対策をして、事故無く、旨いものを食べ、温泉に入り、仲間と語り合い、のんびり過したいと思っています。

関西と違う東北の魅力をたっぷり感じ、いつまでも色あせることのない、思い出に残る旅になることを期待しています。

4年3班 井上 朝夫

ひろば(2)

「魅せられて」

大きな木が印象に残りました。その後も、その存在感に圧倒されています。カイツカイブキでしょうか。太い幹と、炎が巻き上がるような枝先が幾つも重なった樹形。近くで見上げると荒々しく、遠くから眺めると綿菓子のような形がかわいい。いろいろな表情があって、飽きません。

あるとき、廊下に飾られた、「この木」と木造校舎が描かれた絵画を見ていたら、「この絵は昔の瑞穂小学校で、わたしの母校なんです。校舎は建て替えられたんやけどね、この木は、何十年も前から同じ場所にあると思うよ」「毎日、この木と木の間を歩いて校舎に入っていました」と話しかけてくださる方がいらっしゃいました。ちょっとした歴史も知ることができ、関心も深まりました。今まで特に、樹木に興味があったわけではありませんが、登校日やクラブで通学するたびに、「この木」を愛でることが、楽しみになっています。




1年4班 天野 至寿子

## ひろば(3)

### 「三木で生まれて 三木で生きて 73 年」

1970 年大阪万博の年に、まあまあハンサム  
真面目・健康そう・優しいかな・で決めた人と結婚。大当たりでした！！  
超 我慢強い旦那様の、おかげで喧嘩らしい喧嘩もせず二人の子供にも恵まれて  
52 年幸せです。来年は、幸(後)期高齢者の仲間入り、するようです。

 誰と出逢ったかで人生は変わる。素晴らしい出逢いは、その人を大きく変える。

42 年前に出会った仕事、女性経営者を育成する仕事のおかげで、素晴らしい人達と  
ご縁を頂いて、人見知りの激しい私の人生が 180 度変わりました。

プラス思考・潜在能力の活用・夢は実現させるもの、などなど多くの事を学び  
生き活き、いつも笑顔で、感謝いっぱいの毎日です。

☆彡 ああ おもしろい人生だったと言える生き方がしたい。今できているかな。。。。。

高齢者大学も、1 年で辞めるつもりが仲間 9 人の優しい心の、おかげさまで楽しい  
2 年生を体験させて頂いています。これからも、よろしくお願いします。

2 年 永田 鈴江

## ひろば(4)

### 「私の好奇心」

子供の頃、実家の庭に大木の松の木があり、その木に登るのが大好きで、漫画を読んだり、  
大声で歌ったり、お気に入りの場所でした。

そこから見渡す周辺の山々に霞がかかれば周辺の山並みの美しさは今も覚えています。  
その山は播州清水山で大きくなれば山登りもできるよ！と父から聞かされても松茸狩り  
での山歩きしか知らない私には、興味がなかった。

半世紀が過ぎた頃の私には既に山登りが好きで関西の山々を歩いていました。

兵庫の一番高い氷ノ山の下山時に滑り落ちて、右手首を骨折し、日曜日の西脇病院に運  
ばれました。インターン 2 人の先生に手術して貰い帰りましたが、2 週間過ぎて痛み  
が取れず、レントゲンを撮り結果骨 2 本が違う骨に繋がっていたそうです。手術ミスで  
した。私の手首はあれから 20 年過ぎ、曲がったまま健在です。

木登りしていた頃から少し大きくなった頃、私の好奇心は父の自転車に移っていました。  
父のいない日に、自転車を引っ張り出して、近所を片方漕ぎでカチカチと小さい私は得意  
げで乗っていたら体は空を飛んでいました。稲刈りの終わった 1 メートル下の田畑に自  
転車のハンドルと私の顔が地面に突っ込んでいました。地面が柔らかくて自転車も私も大  
した事無く笑い話で終わりました。

大人になってからも乗り物大好き、ドライブ大好きな私ですが、今は早や高齢者。娘に  
免許を取り上げられる日も近いかも！！

3 年 1 班 清瀬 実智代